

田根神社 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

本社の創立年代は不詳であるが建久3年以前の創立と伝へられる。

神代の昔、大穴持命と須久那比古命が稲種を授けられたため、この里を種村と称するといわれる。爾来、穀物の祖神 御食神と産土神と斎奉った。

元弘の乱に当り後醍醐帝が隠岐国より伯耆国に渡海させられた折、海上で御難に遭われ、海神に祈念をされて難をのがれ無事に名和の湊にお着きになった。そして伯耆国から美作国美甘にかかった時、供の公卿1人が発病したためこれを残して還御された。建武3年にこの公卿が種の里に来て神主となり海神の御神徳を信仰して住吉の神等を配祀して波上大明神と称した。

寛文10年美作の大主森内記守が社殿を建立した。明治に至り田根神社と改称し山王社、権現社を合祀した。

昭和28年には湯原ダム水没地の白山神社を合祀している。

前の写真へ次

基本情報

神社コード

14052

神社名

田根神社（タネジンジャ）

通称名

旧社格

村社

鎮座地

〒717-0424 真庭市種1783

電話番号

FAX番号

駐車場

無

御祭神

宇氣母智命

御神徳

農業振興

主な祭典

10月21日：例祭
11月23日：新嘗祭
4月4日：祈年祭

宮司宅電話

0867-62-2853

URL

e-mail

特記事項

氏子地域

真庭市（種）

交通アクセス

湯原温泉から北へ 1.5 km

神事一覧

神輿行事

祭礼日時: 10月21日11時

文化財指定: 市指定

[神事詳細](#)

[検索画面に戻る](#)



© 2016 Okayamaken Jinjacho